

諏訪神社

MAP P13-B-4、P14・拡大MAP

伊達氏が西山城を築いたとき、信州の諏訪大社を勧請したと伝えられています。以来、城の守護神として代々の崇拝を受けました。7月下旬には例大祭が行われ、7年に一度御柱祭が盛大に行われます。

国桑折町字諏訪10



境内には「厄除け桃」があります。

伝来寺の梵鐘

MAP P14・拡大MAP

伊達氏11代持宗が4代政依菩提のために鑄造し、東昌寺に寄進された梵鐘です。「奥州伊達郡無為山東昌禅寺鐘」と刻まれています。白石城で時の鐘として使われた後、維新後に桑折に移されました。

国桑折町字道場前6

町指定文化財



県指定重要文化財



桑折寺の山門

MAP P14・拡大MAP

伊達氏が米沢に移る際、桑折西山城内にあった門を拝領して移築されたといわれています。

国桑折町字新町32

町指定文化財



法圓寺の田植塚

MAP P14・拡大MAP

松尾芭蕉が詠んだ「風流の初めや奥の田植唄」の短冊が門弟の佐藤馬耳によって埋められたと伝えられています。

国桑折町字北町17

県指定天然記念物



無能寺の御蔭廻松

MAP P14・拡大MAP

明治天皇が東北御巡幸の際に命名された老松。推定樹齢は約450年。樹高約6m、枝張り約16mという威風堂々たる姿は圧巻です。

国桑折町字上町4

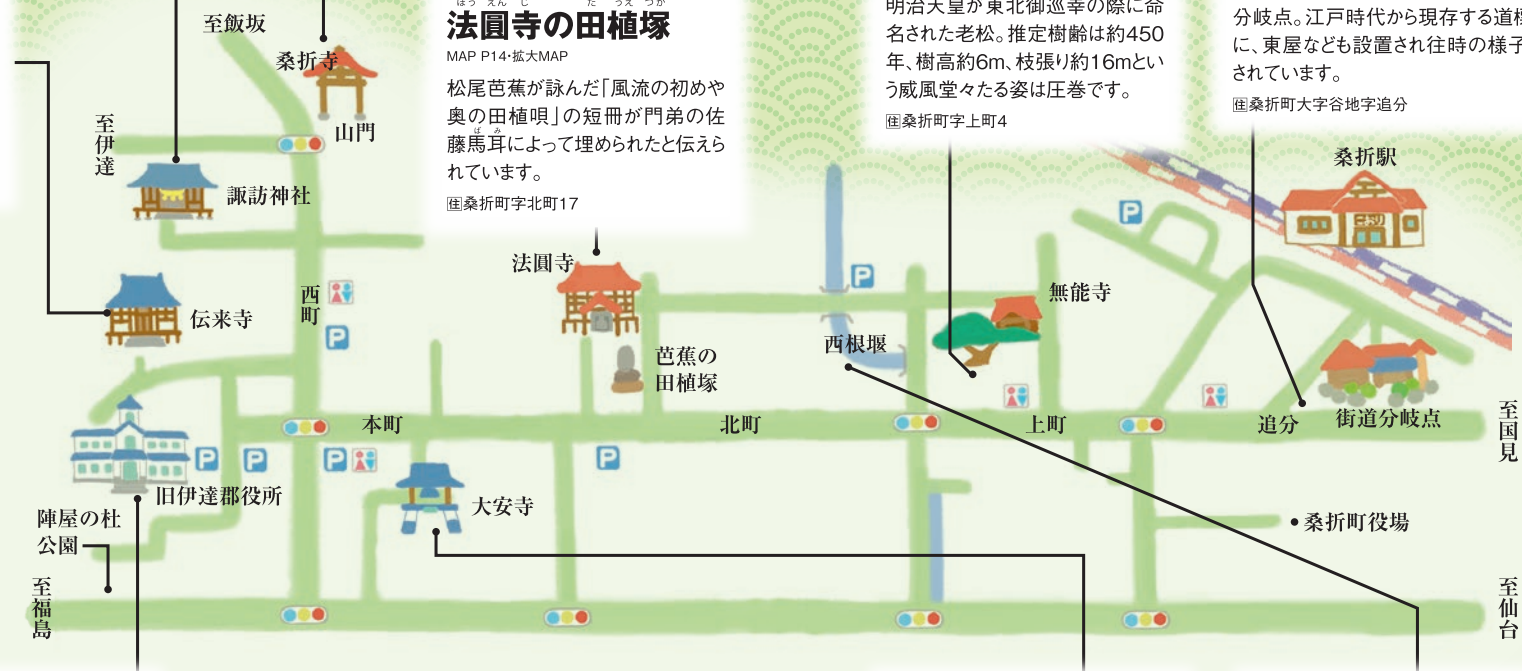


奥州・羽州街道分岐点「追分」

MAP P14・拡大MAP

江戸時代における奥州街道と羽州街道の分岐点。江戸時代から現存する道標のほかに、東屋なども設置され往時の様子が再現されています。

国桑折町大字谷地字追分



桑折の歴史

鎌倉時代(1189年)

源頼朝の奥州攻めの戦功により伊達郡の地頭となって入部した常陸入道念西(朝宗)が、伊達氏を名乗ったのが戦国大名伊達氏の興りです。

室町時代(1532年)

伊達政宗の曾祖父植宗が西山城を築城。政宗の祖父晴宗が米沢へ移るまで、この西山城が伊達氏の居城でした。

戦国時代末期

豊臣秀吉による奥州仕置後、桑折を含む伊達郡は蒲生氏、ついで上杉氏が支配しました。

江戸時代前期

関ヶ原の戦後の1664年に幕府の直轄領に。1686年に陣屋(桑折代官所)が設置され、1700年には桑折二万石松平忠尚の支配となりました。

江戸時代中期

1749年に桑折代官が再び派遣され、その後明治時代に至ります。

明治16年(1883年)

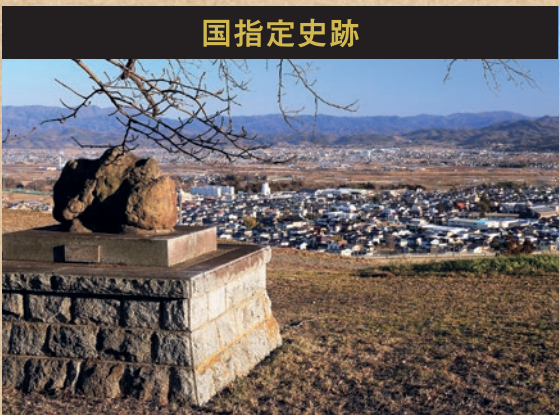
伊達郡役所が移設されて以来、伊達郡の政治・経済の中心地として重きをなし、1969(昭和44)年までは福島県の伊達事務所などが置かれ、地方行政の中心地でした。

昭和30年(1955年)

旧桑折町、旧睦合村、旧伊達崎村、旧半田村が合併。現在の桑折町が誕生し、現在に至ります。



国指定史跡



桑折西山城跡

MAP P13-B-3

伊達氏14代植宗が戦国時代の1532(天文元)年頃に築いた伊達氏全盛期の居城。地形を活用した巨大な山城で、伊達氏の分国法「塵芥集」の制定や「天文の乱」の舞台となりました。1990(平成2)年に国の史跡に指定されています。

国桑折町大字万正寺字本丸

回観音寺(P08)、またはうぶかの郷(P14)をご利用ください

桑折町文化記念館

旧伊達郡役所

MAP P14・拡大MAP

1977(昭和52)年6月27日に国の重要文化財に指定された桑折町のシンボリックな建物です。1883(明治16)年の建築物で、基礎は石積み。総二階建てで中央塔屋を設けるなど「擬洋風建築」となっています。

国桑折町字陣屋12

☎024-582-5507(桑折町文化記念館)

図9:00~17:00※最終入館16:30

休月曜、祝日の翌日、年末年始

※月曜が祝祭日の場合は火曜

無料

伊達朝宗墓所

MAP P13-B-4、P14・拡大MAP

伊達氏初代朝宗のお墓。参勤交代の際、仙台藩はこの墓所に寄り、墓参りをしたと伝えられています。また、仙台藩によって建てられた五輪塔が現存しています。

国桑折町大字万正寺字下万正寺

観音寺

MAP P13-B-4

伊達氏3代義広の菩提寺で伊達五山といわれる寺の1つ。歴史的建造物として価値が高い観音堂は2017年5月に町の文化財に指定されました。

国桑折町大字万正寺字坂町20

町指定文化財



大安寺の梵鐘

MAP P14・拡大MAP

桑折藩主、松平忠恒が寄進。現在のものは、1818年に再々鑄されました。近世桑折の藩領・幕領時代を知る上で貴重な梵鐘です。

国桑折町字沢10

土木学会選奨土木遺産



西根堰

1618年、当時の16ヵ村の農民の水不足から下堰の工事が始まった『西根堰』。上下2本の水路からなり、飯坂町の摺上川からひいた用水路で、近世初頭の農業土木技術の系譜を残しています。